

富山県総合計画審議会 第2回新川地域委員会

1 日時 平成29年11月16日(木) 15:30~17:30

2 場所 ホテルアクア黒部 2階 ロイヤルシンフォニー

3 出席委員(五十音順)

吉田委員長、堀内副委員長、村椿副委員長(オブザーバー出席:四十万副市長)
伊東委員、大愛委員、大橋委員、岡田委員、笹島委員、笹原委員、千田委員、
高本委員、中西委員、廣川委員、廣瀬委員、松野委員、水白委員、宮本委員、
村井委員

4 議事

- (1) 答申検討案(地域別の特性と取組み【新川地域】)について
- (2) その他

5 発言要旨

(1) 知事挨拶 石井知事

- ・ 本日、富山県総合計画審議会の第2回新川地域委員会を開催しましたところ、委員長をお願いしておりますYKKの吉田会長をはじめ、市町村長、また、経済界をはじめ各界の代表の皆さまには、大変お忙しい中ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。
- ・ 昨年12月に、総合計画審議会に新しい10年間の計画策定について諮問させていただいて以来、審議会の全体会議や各部会、また、青年委員会等も開催して、それぞれご議論いただきました。この地域委員会でも、7月に第1回委員会を開催しまして、地域ごとの特性や課題等についてご議論を頂いたわけです。その後、県議会議員の皆さまとの意見交換会、また、魚津市をはじめ県内4カ所でタウンミーティングをやり、パブリックコメントなども行いまして、いろいろな議論をし、ご提言をお伺いして計画の内容を詰めてきました。去る10月には、この「活力」「未来」「安心」各分野の基本政策について、答申検討案の取りまとめもしていただいたところです。
- ・ 本日はこうした議論の積み重ね、また、答申検討案の全体像もお示ししながら、その中でも「地域別の特性と取組み」について、新川地域分の答申検討案を提示させていただきましたので、委員の皆さまには十分ご審議を頂きますとともに、それぞれのお立場からのご意見・ご提言なども賜りたいと思っております。
- ・ ただ、この「地域別の特性と取組み」は、また事務方からご説明すると思いますが、前回5年前に計画を作った際にも、市町村長の方々からご意見があつて、あまり各論を書き過ぎると、各市町村の計画とのやりくりも出てくるので、できるだけ大きな骨組みだけにして、本当の各論は毎年度の予算編成で調整しながら進めていくという考え方で、骨子を比較的簡潔にまとめるという方向でのたたき台にしております。

- ・ この新川地域委員会の開催は今回が最終回ですから、今日頂いたご意見を基にして、今後、総合部会や審議会の全体会議を開いて、来年の1～2月ごろに取りまとめたいたいと思っております。今日はひとつよろしくお願いいたします。

(2) 資料説明

<事務局より説明>

(3) 意見交換

【吉田委員長】

- ・ 「地域別の特性と取組み」の答申検討案などについて一括して説明いただきましたが、この後は、ただ今説明のあった資料の内容に関して、委員の皆さまから忌憚のないご意見をお伺いしたいと思っております。なお、ご意見はこの委員会の所掌する事項である「地域別の特性と取組み」に加えて、活力・未来・安心の各分野の答申検討案などについても、幅広くご発言いただければと思います。

【宮本委員】

- ・ 県の取組みをいろいろ聞かせていただいて、県民のためにいろいろな構想を練られていることに、本当に敬意を表したいと思えます。10年後、私たちがこの富山県において、本当に幸せだな、住みよい町でよかったなと思えるようになればいいなと思っています。
- ・ 前回、私は観光には花が重要ではないかと申し上げましたが、今、新幹線は新川地区には黒部にしか止まりません。ですが、黒部だ、魚津だ、入善だということではなくて、黒部にはくろべ牧場を中心としたサクラがある、魚津ではカノコユリ（鹿の子百合）の栽培がある、入善町ではチューリップ等があるということで、市町を超えた全部で新川地区が一緒になった活動でもっと観光客が増えてくれればいいなと思います。
- ・ また、音楽の方で、文化ホールですが、参考資料1の対応状況を見たところ、これからはまだブラスバンドの活動はずっと続けられるようだというので、少し安心しました。ただ、それに伴い、たくさん子どもたちがどっと来られるので、今度はそれに対応した宿泊施設といったことも、市だけではなく、今、学びの森があるのですが、そこもだいぶ老朽化しているということで、これからどうなるのかなという不安もあります。とても良い音楽環境にあるので、ぜひそういう所も残していただいて、ますます文化ということでも新川地区がどんどん発展していったらいいなと思います。

【村井委員】

- ・ 事前に資料を拝見して、大変バランス良くできているかなと思っておりました。私たちの思う新川地区の課題は、やはり今おっしゃった観光の面、それからもう一つは少子高齢化、特に高齢化です。地域人口が減っていく中、どう両立させながら維持していくかということだろうと思っております。ここに出てきている言葉とすれば、い

ろいろなものがありますが、例えば二次交通の話とか、われわれが直接やっていくべきことも載っていましたが、そういう面でも県、あるいは各自治体の協力を頂きながら役に立つ場面を提供していくというのが、改めて私たちにとっても課題だなと思いつながりながら読ませていただきました。

そういう意味では、微力ですが、お力になれるよう努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【水白委員】

- ・ 以前、山の新川地域は2市2町共通で、同じテーマで、それぞれ個性を持って取り組んでもらえるものという、北アルプスの百名山を多く見ることができる地域として新川地域が大変重要な資源ではないかということをお話しして、この答申検討骨子案でも山のことについて少し触れていただいております。ありがとうございます。今、改めてもう一度、そのことをお話ししたいと思います。
- ・ 新川地域は新幹線に乗って、トンネルを通過して富山県に入りますと、最初に朝日町からは剣岳の裏剣が、これは山に登らなければ見られないところを、平野部から、新幹線から見るすることができます。また、入善町になれば、五竜岳、鹿島槍ヶ岳の百名山を見ることができます。黒部になると、白馬三山も見ることができますし、また、魚津に入りましたら立山の方を見することもできます。これは同じテーマで、それぞれの地域が個性を持って取り組めるテーマで、今は総合計画のことで知事もあまり具体的なことは言わないようにとお聞きして、それを承知した上で申し上げるのですが、これを具体的な政策に落とされる時に、一つ提案がございます。

それはまた新しいパンフレットを作るという話ではなくて、新幹線に乗っておりまして、窓にサンシェードと言うのでしょうか、ブラインドのようなものを下げることができます。そこにぜひこの新川地域、ならびに富山の方も含めて、山の写真なり説明なりを入れると、この地域の資源と新幹線のルート、今度はゴールデン回廊ということになりますが、それに向けて具体的にこの資源の重要性を分かってもらえるのではないかと思います。単なる無味乾燥なブラインドが楽しくなるのではないかと思います。

【松野委員】

- ・ この資料ですが、本当に細かくいろいろな面で書いてあるので、これからの10年後がどうなるのかなど、とても楽しみに思っております。先日、新幹線で女性の会だけで各市町村の良いところを回ったのですが、立山町を最後に今回は終わったのですが、各市町村にはここに書いてない、いろいろな素晴らしいところがあって、私たちもすごく感激しました。それで、新幹線ができてもう2年以上たっているのですが、少しずつ「ここをこうしたらいいのではないか」という問題点もたくさん出てきたのではないかと思います。
- ・ 一つにロータリーは広々となっていますが、送り迎えは非常に小さいところで、あの広いロータリーはどうかならないのかという意見も多く聞いております。また、やはり駐車場が少ないのではないかとということも聞いております。土日になると、本

当にもうみんな埋まってしまって、ぎりぎりに行くと新幹線に乗れないのではないかと心配することもあるのです。

- ・ また、漁業ですが、魚津、黒部、入善と、それぞれにブランド化されてきています。いつまで漁業が続くかどうかは分からないのですが、女性部も所々、年齢も高くなっているのです。今後、継続していくのはちょっと難しくなるのではないかなと思って、少し心配しています。それぞれに漁業の方もブランド化を目指して、各漁協は頑張っていると思います。また県の方からもお力添えいただければ、ありがたいと思います。

【廣川委員】

- ・ 私は年齢的にも若い方になると思いますが、40歳ということもあって、少子高齢化の中でも高齢者と子どもたちの一番中間の世代にいる人間として、やはり若い人たちがもっと意見を言える、あるいは若い人たちがもっと出て行ける機会や仕組みをもっとつくっていただけると、なかなか私たちの世代は表に出なかったり、ちょっと面倒くさがったり、そういった傾向の方が多いものですから、そういった人でもどんどん出やすくなるような取組みをしていってくれるとうれしいなと思います。
- ・ もう1点は、やはり人口流出がすごく問題となっております。特に新川地域の方でいくと呉東の方ということで、富山市や都心部の方に人が流れていくのは当然といえば当然かもしれませんが、それに伴い地域が衰退していくと同時に、地元の中小企業の担い手不足がどんどん深刻化しているなど、最近、ひしひしと感じているところです。そこについても、もう少し具体的にというか、もっと目を向けてくれるとうれしいなと思っております。

【中西委員】

- ・ 今回、この資料を頂きまして、読ませていただきました。本当によく分かりやすくまとめてあり、先ほどからもありましたように、これができたら10年後の富山がすごく楽しみだなと感じました。特に活力・未来・安心・人づくりという切り口ですごく分かりやすくまとめられていて、私からはどちらかというところの活力、産業振興の方でお話を2点ほどさせていただきたいと思います。
- ・ 産業振興の中でもほとんど網羅されているので、具体的に産業振興の中でもどこを強化していくかということが明確になってくると、もう少しいいかなという感じがしました。既存の産業と新しい産業と幾つかあると思うので、できれば既存の中でもこういったことを強化していきたいとか、新規の産業でこういうところを強化していきたいという切り口もあったらいいのかなという感じで見ていました。

それと併せて、今後、技術振興に当たっては、技術のシンボルタワーではないですけども、技術センターのようなものが東部地区にもあって、いろいろな新しい設備等を地元の皆さんが気軽に使えるようにすることによって、自分たちの企業でもどんどんそういったものを活用しながら、例えば3Dプリンターとか、いろいろな新しい技術を導入できる、また、触れる機会をつくっていただくと、すごく自分たちの企業にも使っていけるのではないかと。そして、それを自分たちの企業の設備としてもまた導入していったら、さらに進化していけるのではないかなという感じがします。

- ・ あとは安心について、私どもの会社でも OB 人材にアンケートを採ったり、いろいろ話をしたりすると、年を取ってくると一番困るのが介護の問題であると。自分たちが OB になってから新しい資格を取って、介護を自分たちでもやってもいいよということを書いていただけるので、企業と県がコラボレーションしながら、そういう介護のことで企業から人を出したりするなど、そのようにうまくコラボレーションできないものかなと思っております。働く人たちが安心して働けるという意味での介護について、県と企業でそのような施設を運営できたらいいのにと考えております。
- ・ 最後に、この計画を見せていただき、次の運用と今後の成果をどのように上げていくかという一年一年の PDCA がすごく大事だなという感じがしたので、ぜひ地域、そして企業との連携を深めていただく場を設けていただき、情報交換させていただければありがたいと思いました。

【高本委員】

- ・ 私からは新幹線の駅のにぎわいのことを少しお話ししたいと思うので、よろしくお願ひします。新幹線の駅は、先ほど宮本さんも言われたように、新川地区全体で花の祭りでもするなどして、新幹線の駅をもう少しみんなのにぎわせたらいいかなと思うのです。私たちもボランティアとしてこの新幹線の駅を良くしたいと思って一生懸命頑張って、今回は 25 日に第 6 回くろべ農と食のまるかじり市を開催しますので、県の方でもこの新幹線の駅のにぎわいを応援していただければうれしいと思います。
- ・ もう一つは、富山県は「海のあるスイス」を目指すということですが、本当にそうだと思います。富山県を降りたら、どこを見ても一枚の絵のように素晴らしい景色、山や海や里ということで、前回も言いましたが、外壁を白かクリーム色にしてほしいと。てんでばらばらの色をしていると、本当に美しくなくて汚いです。それで今日の資料を見ましたら、私が言ったことがちゃんと書いてあったので、とてもうれしく思いました。ぜひ市町村長の皆さまと知事も一生懸命になって、美しい富山をつくろうではありませんか。
- ・ 三つ目は、子育てのことです。私たちおばあちゃんたちには、各地区の公民館で体が空いている人がたくさんいます。私が民生委員のときには 3 時間、4 時間でも、例えばお母さんがパーマや買い物に行ったりするために子どもを預かりました。私が民生委員を辞めたら、それもだんだんなくなってしまいました。みんなで子育てをする、みんなで未来の子どもたちを見てやるという活動を県の方も応援していただければ、おばあちゃんたちは一生懸命やると思いますので、またよろしくお願ひいたします。

【大愛副委員長】

- ・ 今日は 3 点ほどお願ひしたいとされていて、2 点は経済のことで、1 点は観光のことです。
- ・ 「グローバル競争を勝ち抜く力強い産業の育成と雇用の確保」ということで、最近、商工会議所でよく話を聞くのは、やはり人手が足りないので何とかならないものかということ。それに対してなかなかはっきりとした返事ができないというのは非常にもどかしい部分はあるのですけれども、この新川地域に専門学校・大学というと、

魚津市に北陸職業能力開発大学校があって、黒部市に技術専門学院新川センターがあるのです。ここを卒業した方が皆さん新川地域に就職されるわけではないのですが、個々の企業はできるだけ多くの方が新川地域の会社に入社するよう努力していただきたいということもあるのですけれども、今、お客さまのニーズがかなり多様化し、また、高度化もしてきていると聞いております。その中で学生や生徒の技術力の向上を図るために、いろいろな大会等には出ておられると聞いているのですが、もっと技能や技術力を上げる方策をどんどんやっていって、できるだけ即戦力で使えるような人材を確保できればと思っております。県としてもいろいろな対応をさせていただいているのですが、より一層のご支援をお願いしたいと思っております。

- もう一つ、これは新川地域だけではなくて全体に言えることなのですが、先ほどの話にも出たのですけれども、やはり後継者、要は事業継承の問題があります。魚津商工会議所には1,500社ほどが入会しているのですが、廃業等が50社前後、新しいビジネスを起こすものが20~30社ということで、毎年、どんどん事業数が減っているという現状があります。その中で事業継承に関する問題としては、やはり後継者がいないとか、税金の問題とか、こういった問題を少しでも解消できるような対応もまた考えていただきたいと思えます。そして、それよりも世の中がかなり変化してきているので、当然、なくなっていくビジネスが出てきても仕方がない部分もあるのですが、新しいビジネスがどんどん出てきている中で資金的な問題、人材的な問題を聞くものですから、何とかそういった部分にも対応できるように支援していただければと思っております。
- 最後に観光の問題なのですが、今日は2市2町の政界、そして経済界の代表の方も来ておられます。また、いろいろな会合で、2市2町の観光に対するいろいろな取り組みもやっておられます。ただ、それぞれの市や町で単独でやっている部分は非常に多いと思われれます。それぞれの市や町のブランドがたくさんあるので、できるだけ新川地域が一つになって、全国、そして世界へ売り込んでいくようなことができればということで、経済界、そして行政と一緒に、この新川地域をどんどん売り込んでいければと思っております。ぜひまた知事にもお力を貸していただいて、この新川地域が少しでも前進するようにお願いできればと思えます。

【吉田委員長】

- ありがとうございます。お一人お一人、非常に簡潔に、しかし幅広くいろいろなことをおっしゃっていただいたと思っております。
- 皆さんからご発言があった言葉の中に、「すごく細かく全部書いてあって、これがうまくいったら、10年後はすごくなる」という発言があったので、県の皆さま、10年後に実現しないとどうしようもありませんから、よろしくお願ひしたいと思えます。それでは、知事にコメントをお願いしたいと思えます。よろしくお願ひします。

【石井知事】

- それぞれ大変貴重なご意見をありがとうございました。いろいろなお話がありましたが、先ほど学びの森の話も出ましたけれども、新川地区にも新川文化ホールがあつ

て、それぞれ各市町村も何か施設をお持ちですし、できるだけ経済はもちろん、文化的な面でも富山県、あるいは新川地区が大変魅力的だということになるように、市町村の取組みをできるだけ支援、サポートしたいと思います。また、新川文化ホールは県立の施設ですから、今後も大きな一つの拠点として努力していきたいと思っています。

- また、新幹線の窓のブラインドに山の写真や説明という話もあって、これはJRとまた相談してみなければいけません、東京から金沢までは間にいろいろな山が入るので、そういうことも含めてJRの方でうまく受け止めていただけるかどうか、これはせっかくのお話ですから、そのような意見も出ているということはお伝えしたいと思います。
- それから、漁業のブランド化に努めたいというお話がありました。ご承知のように、全国的に見ても、ブリ、ホタルイカ、白エビはブランド化に随分成功した方だと思っております。今日か昨日の新聞にも少し出たかもしれませんが、もともとは越前ガニが全国的には有名で、確か1キロ当たり4500円ぐらいです。これに対して、わが富山湾の紅ズワイガニは、私は遜色なくおいしいと思うのですが、1キロ当たり500～600円ぐらいで、越前ガニの8分の1から7分の1です。これはいかにもおかしということで、ブランド化に努めておりますが、ここ2～3年で、漁協にもよりますけれども、例えば滑川漁協だと1～2割ぐらいは値段が上がってきたと聞いています。少し時間がかかりますが、これは各漁協とも連携しながら、せめて越前ガニの半値ぐらいにはなるようにと。不思議な一致なのですが、越前ガニと富山湾の紅ズワイガニの漁獲量はほぼ同じなのです。今、富山湾の紅ズワイガニは年間売り上げが3億円ぐらいで、一方、福井県は21億円ということで差が大きいので、何とか半値ぐらいにすると、それだけでも売り上げが10億円を超すことになりますから、また頑張っていきたいと思っています。
- あと、若い人の意見をもっと聞く機会を増やせというのはごもつともで、今度の総合計画でも青年委員会を設けております。最初にこういう取組みをしたのも、「富山県経済・文化長期ビジョン」を一昨年从去年にかけて、30年後のビジョンというときに若い人の意見を聞こうということで青年委員会をつくったのですが、やってみると、なかなか意欲のある意見がいろいろ出るので。30年後、50年後というと、今以上に社会の中核的な立場でご活躍いただかなければいけない世代ですから、できるだけそういう機会をつくっていきたくて思っています。また、ご意見を言っていただくだけではなくて、まさに担い手として参画して、活躍していただけるようサポートしたいと思います。
- また、技術の拠点を新川にもというお話がありました。職業訓練などを入れますと、ご承知のように北陸職業能力開発大学校が魚津にあり、また、県の技術専門学院については黒部市に新川センターを置いていますが、できるだけこうした面の機能アップに力を入れていきたいと思っています。
- それから、確かに介護人材の確保というのは大変頭の痛い問題なのですが、一つはもう少し、これは保険料との関係があって難しいのですけれども、やはり介護に関わる労働の質と報酬のバランスが取れていないという処遇の問題もあります。これは政

府にお願いして、今度、介護報酬の見直しなどもありますので、例えば富山型デイサービスなどについては非常に社会的な意義が大きい割には介護報酬が低いですから、もう少し適正化してもらおうということで、この間、加藤大臣にもお願いしてきました。

- ・ あと、企業との連携という話が出ましたが、人手不足のようですから、企業の現役の人が介護に携わるのはなかなか困難かと思うのですが、多分、そういう意味でおっしゃったのではなくて、例えば企業をいずれ退職された世代ですね。企業を60歳なり65歳なりで退職されても、まだ元気な方はたくさんおられますから、女性・男性を問わず、こうした分野の担い手になっていただくということは十分あり得ると思います。そのための研修の制度とか、そういったことも含めて、これは国にも相談しながら、介護人材は非常にまだまだ不足していますから、そういう確保を対策の一つとして努力していきます。
- ・ それから、美しい町、村、美しい富山県をつくろうというのは全くそのとおりで、努力していきたいと思います。新幹線駅のにぎわいづくりに非常にご尽力いただいているようですが、もちろん沿線市はそれぞれ努力されていると思うのです。県も新幹線開業の直前と直後はかなり補助金も支援して、少しでも盛り上がるようにしたのですが、今は少し薄れてきたので、新幹線対策ということではなくて、県民の皆さんの市のにぎわいづくりや、富山県をもっと飛躍させるためのいろいろなチャレンジ、協働事業については補助制度も持っていますから、そういうものの一環として内容によってはご支援申し上げることができるのではないかと思います。
- ・ また、シニアの子育て支援の話が出ましたが、富山県は子育てシニアサポート事業というものを持っておりまして、ここに登録している人が今、560人ぐらい、600人弱いらっしゃいます。その他、ファミリー・サポート・センターといって、これはご存じだと思いますけれども、子どもを預けたい人と預かってもいいという人をマッチングする制度があります。この運営費は確か県が3分の1を出して、市町村も3分の1を確か出すという仕組みがあるので、そういう志のある女性の皆さんは、ぜひこういった仕組みをうまく活用していただければと思います。
- ・ それから、企業の技能をもっと高めるための努力というお話もありました。これは先ほど申し上げた北陸職業能力開発大学校、また、企業のいろいろな技能オリンピックのようなものもあるので、そういうものに参加していただくことについても、またご相談したいと思います。
- ・ あと、後継者の事業承継の話が出ました。これは大変大きな問題で、富山県でもあと5年、10年でもう事業を続けられなくなるのだけれども、適切な後継者が今の時点では見つからないという方が相当おられました。そこで一つには、実情をもう少しちゃんと調査しようということで、経営者が60歳以上の企業については、今、悉皆調査と言うと大げさですが、かなり規模の小さなところまで実際に実態調査をしております。後継問題をどう考えておられるかについてです。

もう一つ、それも踏まえてどうするかということも考えなければいけません、それはそれとして、政府にもお願いして、例えば中堅・中小企業が事業承継する際は相続税が問題になる場合が多いので、この点は財務省にもお願いしています。相続税は

国の税金ですから、思いきった軽減措置のようなことができないかということで、これは麻生財務大臣もかなり真剣に考えていただけるように私としては受け止めており、ぜひそうしたことを実現したいと。それから、経済産業省にも後継者の育成確保についてこれまで以上の充実した政策を打ち出していただくようお願いしているのも、その辺の国の動きも見ながら、なお足りない点については、県としてさらにそれをサポートするようなことを考えていきたいと思っております。

【吉田委員長】

- ・ ありがとうございます。それでは、引き続きご意見を頂きたいと思えます。

【笹島委員】

- ・ 今ほど、この総合計画の内容を見させていただいて、本当に細部にわたる、そして幅広い分野を網羅された計画だと思っております。この大きなビジョンを絵に描いた餅にしないように、やはりその実現に向けた努力をする必要があるだろうと思っておりますが、ちょっと分かりませんが、この中にある目標の設定というものがいつ頃入るのかということで、それぞれの事業・施策に対する目標数値を掲げながら、それに向かって努力していくことが大切だろうと思えます。また、そのためには市町村だけではなく、県民の皆さま方にもこの内容を知っていただくことが大切ではないかなということで、県民を挙げてこの総合計画の実現に向けた努力をすることが必要だろうと、私なりに感じました。
- ・ 入善町として申し上げたいことは、やはり少子高齢化、急激な人口の減少に対してどう取り組んでいくかということです。結婚・子育て支援だけではなくて、例えば少子化に対しては働く場の確保、そして生活が豊かでなければ、なかなか結婚までいかないということで、一連の流れが必要なのだろうと思っております。私どももそういった中でさまざまな施策を行っているわけですが、なかなか目に見えた形で前進してこないということがあります。
- ・ あるいは高齢化の問題についても、世帯数はどんどん増えるのですが、人口が減っていくと。いわゆる核家族化が進んでいて、結果として高齢世帯が増えていく、また、空き家が増えてくるということもあります。加えて入善町の場合は扇状地ということがあって、散居村が多いわけで、高齢者の皆さん方の公共交通の足が大きな問題にもなってきます。各市町村のことを言うとあれですが、総合計画の中にもそれぞれの市町村の特徴といたしまししょうか、そういったものがあるだろうと思えますし、また、課題もあると思えますので、そういった面にも少し配慮された計画になれば、もっと良いのではなからうかと思えます。そういったことで、ひとつまたよろしく願いしたいと思えます。

【笹原委員】

- ・ 2点、お願いいたします。参考資料3-1の121ページにある「ふるさとの魅力を活かした地域づくり」では有害鳥獣対策に関して述べてあるわけですが、これは地域の懇談会等でも、他の市町とも言っているのですけれども、有害鳥獣対策に県は今よ

りも一歩、二歩、もっと前へ出て取り組むべきではないかと思っています。町は今年の5月に5カ年計画で耐雪型（侵入防止柵）の導入を決めました。やはりできれば県がもっといち早く、もう少し予算の幅も増やしてやっていただきたいと思っています。現にイノシシやクマ等が町部にも出てきているわけで、そういったことには積極的に、当然、農地を守るということでもあります。人的被害も防ぐという観点から、一歩でも二歩でも前へ出ていただきたいと思っています。町が今、やっていることもしっかりなのですが、併せてどうしても道路・河川からの侵入もあって、今年度、私どもは有害鳥獣が嫌うグレーチングも試行的に導入しているのですけれども、当然、県や国の河川管理も必要になってくると思っていますので、一歩、二歩前に進めてやっていただきたいということを、この計画の中にも織り込んでいただければと思っています。

- ・ もう1点は、看護師の確保の観点からです。看護師の需要というのは、当然、老健やいろいろなところであるわけです。そういった中で、今、県が進めている4年制の県立大学の看護学部が平成31年にスタートすることは喜ばしいことではあるのですが、片や新川エリアでも、実はもともと2市2町でも看護師の人材の確保等については述べていて、その中で実際に県の方でやられることもありがたくはありますけれども、実は47都道府県の中で私立がない県は富山県を含めて7県なのです。山形、富山、島根、四国の高知、香川、九州の大分、宮崎です。そういった意味では、やはりこれからのことを考えて、計画の中で新川エリアにも看護師確保の観点からそういったことも視野に入れて検討していただければと思っています。やはり県の病院での実習の受け入れが看護師確保につながる確率が高いということも一つありますし、そういうさまざまな観点から地域の活力、人材の確保という点もぜひ視野に入れながら検討していただければと思っています。

【廣瀬委員】

- ・ 人口減少社会はとても心配なことのひとつであろうかと思います。その中で重点戦略テーマとして掲げておられます「本格的な人口減少社会に立ち向かう人と地域の活性化戦略」には本当に大いに期待するところです。

先だって、とある大学の先生とお話ししていましたら、今の大学生には地域のコミュニティにもものすごく関心を持つ子が増えてきていると。いずれ戻るならば、地域に溶け込んで団体活動等でも活躍したいという学生が増えてきているというお話を聞いたところです。Uターン政策がここにもいろいろと示されていますが、どうかこの各コミュニティ団体等との連携を図りながら、地域コミュニティの魅力も発信しつつ、Uターンに関しては確実なものにさせていただければと期待申し上げるところです。

そこにも示されていますが、仕事と生活の調和、働き方改革の推進に役立つということもあるでしょうし、何と云っても地域コミュニティ力の強化にもつながるということで、お願いしたいと思います。各地域で活躍されていますコミュニティ団体もそういったことを意識しながら、自らPRを図り、こういったことに戦略立てて取り組んでいかなければいけないのかなと強く感じております。

- ・ もう1点は、労働人口が減ることですが、外国人労働者の受け入れについてです。今現在、在留資格・制度等の問題があり、なかなか多くの外国人労働者を雇う

ことはできないのですが、単純労働者の問題にも直面しているところであろうかと思
います。どうか国と連絡を取り合っていただいて、この外国人労働者の受け入れとい
う取組みも進めていただければと思います。

【伊東委員】

- ・ 私は製造業をやらせていただいておりますので、まず製造業の件でお話しすると、展開目標の最初に IoT や AI などの第 4 次産業革命に対応した取組みをしていただけるということで、非常にありがたいと思っています。ただ、そういう考え方の中で、やはり中小企業はどうしてもそういうところにかかるお金がありません。それから、なかなかそこまでやる人材がないということを考えていただいたときに、ぜひ中小企業に対しての支援とか、あとは産学官連携でより安いコストでいろいろな新しいことができると思うので、そういうことができるような取組みをやっていただければ非常にありがたいと考えています。
- ・ もう一つは、ご質問という形で、「食のとやまブランド」の確立についてです。いろいろとお話を頂くのですが、今、実は大愛会頭の下、魚津商工会議所ではブランド化委員会ということで魚津のブランドをつくっていく取組みを委員長という立場でやらせていただいております。その中で、富山県のブランドというものをどういう形で進めていくのが一番いいのかということ、県全体として考えていただく機会があってもいいのかなど。例えば魚津のリンゴ、氷見のブリなど、それぞれの町に特徴のあるものを名前として挙げられるのも素晴らしいと思うのですが、「富富富（ふふふ）」に代表される富山米など、そのように富山というトータルの力として全国に PR していくのも一つの手法ではないかと思います。そういうことについて、全体を見られる県の方の立場としてどのようにお考えなのか、お話をお聞かせいただきたいと思います。
- ・ それから 3 点目として、今、廣瀬委員から外国人労働者のお話が出たのですが、実はうちの会社にはベトナム人エンジニアが何人か来ておりまして、その子たちが家族を連れてくることのできるわけです。多分、YKK さんでも同じだと思うのですが、そのように家族を連れてきたら、次はどうなるかということ、この地元で教育を受けたいという話になるのです。しかし、実は外国人の子たちに教育を受けさせてあげられる場所がなかなかないということがあって、労働者を確保していく上でも、もし教育でそういう場が提供されるような何かがあれば、ぜひご支援を頂きたいと感じております。
- ・ あと、新幹線の利活用についての考え方として、黒部宇奈月温泉駅から新幹線で東京の方に行くに当たって思うことは、どうしても「かがやき」と「はくたか」の 2 種類の電車があるために、時刻がばらばらであることです。それがあって、やはりなかなか使いづらいと。また、お客さんが来られたときもそうなのですが、空く時間になれば 1 時間ぐらい空くということで、なかなか利便性が良くありません。そういうことを全体としてご要望いただきたいということがあって、ぜひ新川地区の黒部宇奈月温泉駅をもっと活用していただくために、そういうことをご検討いただければと考えております。

【大橋委員】

- ・ 前回、私たちが意見として出させていただいたことが検討案に全て盛り込まれてあって、個人的にも大変ありがたく、満足しております。
- ・ 二次交通の充実についてもこの答申検討案の中に書かれているわけで、これから二次交通が非常に大事になってきますが、その二次交通が活きるためには、今、伊東委員もおっしゃいましたけれども、接続ということが非常に大事になってくると思います。スイス、あるいはドイツの環境都市で行われているようなパターンダイヤが組まれば理想的なのでしょうけれども、現実的にはなかなか難しいと。ただし、接続をいかに短く、利便性を高めて行くかというところが、実は公共交通の利用者の増にもつながりますし、また、観光客の満足にもつながるということで、ここについてはぜひ関係機関と引き続き連携を取ってもらって、連結、接続のスピーディ化といいますか、利便性の向上に努めていただければと思います。
- ・ そして、二次交通も大事なのですが、やはり一次交通も何と言っても大事だと改めて感じているところでもあります。一つは飛行機です。国際便、そして国内便の増便に向けて、環境が難しいのは分かっているのですが、やはり前向きな考え方として、一度減った便数ではありますが、将来的には元に戻す、あるいは増やすことを目指して努力していただきたいと思います。また、この新川地域においては新幹線ですが、かがやきを止めることはあまり現実的ではないと思うのですが、つるぎを黒部宇奈月温泉駅まで持ってこられないかと。これを上越妙高駅まで持っていけば、あそこには折り返し設備がありますから、可能になります。この富山の魅力は海外にも発信されておりますし、インバウンドの観光客をこれからさらに増やすことは可能だと思っていて、そのためにも黒部宇奈月温泉駅に新幹線がさらに止まること、物理的に可能なのは、つるぎが停まることではないかと思っています。これもハードルが非常に高いことは承知しておりますが、少し夢のあることも描きながら、前向きに取り組んでいっていただきたいと思います。
- ・ それから、この新川地域は包蔵水力、そして地熱エネルギーに関して日本でトップクラスです。今、県が旗振り役となって、小水力発電とか、地熱発電所も調査、あるいは建設が進められているわけですが、こういったものが単に設備として導入されるだけではなくて、その中に新たな産業として再生可能エネルギーの産業クラスターのようなものがこの地域に芽生えてきて、育っていけばいいのではないかと考えております。既にこの地域でも川端鐵工さんや北陸精機さんは小水力発電の技術を海外に移転されております。既に萌芽はあるわけですから、新たなものづくり県のウイングを広げる意味でも、そういったところを育てていって、支援していただければありがたいと思っています。

【岡田委員】

- ・ いろいろなところに対して、いろいろな細かい計画がなされているなど思いました。これが本当に達成すれば、素晴らしい富山県になると思うのですが、ちょっと疑問に思ったのが、この達成状況や進捗状況を誰が判断・検証して評価していくのかということです。第三者委員会のようなもの、このような場とか、検証委員会のようなもの

のを計画されているのだろうかと思いました。

- また、その評価の軸となるような、例えば細かい施策に対しては細かい数値目標等を立てていらっしゃると思うのですが、人口減少に対して出生率何パーセントを富山県として目指すとか、何か評価軸となるような大目標が何かあってもいいのかなと思いました。それからこの新川地区で、実際にそうかは分からないのですが、県の総合計画の具体的な施策として高校再編があると思うのですが、それが実際に運用された場合に、西の方では効果があったけれども、こちらの新川地区においてはマイナスの効果しかなかったのではないかと思われたときに、誰に評価を求めて、県の総合計画と実際の運用計画の乖離をどうやって埋めてもらえるのか、その辺について明確なことを示していただけるのだろうかという疑問に思いました。

【千田委員】

- 私も連携ということを新幹線問題のときからいろいろ言い続けてきているわけですが、県と市町の役割分担とか、二次交通とか、いろいろな問題が頭の中にここ3年ずっとあったのですけれども、それは当然、黒部宇奈月温泉駅を軸とした二次交通も考えていかなければいけない中で、どのようにこの2市2町が本当に連携を持てるのだろうか。今日、黒部市長にもお話したのですけれども、「ちょい乗りステーション」の自転車とか。この新川地域は車社会になっていますが、外国の方も呼んだりするときにはきめ細やかな、例えば自転車文化を持っていたらどうだろうか、そういうことばかり考えてきましたが、それはそれでやらなければいけないのは当然なのですけれども、今、若い方というか、未来の次世代の方々が意外と元気なのです。それは魚津の場合もそうです。飲食の若い方なども、今、すごくやる気になって、2代目、3代目がやっています。また、私は酒造の方に関わっているのですが、今までお酒造りにはどこかの杜氏さんと呼んでやると。それで、経営者は経営者で違う考えでやっています。若い社長さん自身が自ら杜氏になるなど、発想が今の若い人は元気で、私たちの時代とはまた違ういろいろな危機感を持っています。子育て世代の方々の意見を聞くと、すごいなと思います。

昨日の話ですが、富山県が美肌日本一になって、若い人たちと会うと、やはりすごく喜んでいるのです。女性だから特になのですけれども、それと今、お酒でフェースマスクを作ることにしたのです。魚津を一つ取っても、若い人は若い人ですごく頑張っているのですが、やはり中央通りで1軒しかないメンズ老舗で、新川地域の方々がブランド物を買いに来ているお店が今年中に閉鎖するとか、そういう両極端なことが実際に起こっています。今回、知事が青年委員会をつくられましたが、これから子育て世代や若い方々の意見をどんどん吸い上げて、いろいろな場でもっと若い世代の意見を聞いていただきたいと思いました。

【四十万オブザーバー（村椿副委員長代理）】

- この県の計画は素晴らしく良いと思いますし、これに合わせて市町村の方もいろいろな事業を創造しながら、県とタイアップしてやっていきたいと思っております。既にいろいろなタイアップしてやっているところもあるのですが、その中で、皆さんの意

見にも出ていましたが、特に食に関してブラッシュアップという話はよくあるのですが、最近では安全・安心の話が非常に強く出ております。例えば魚津でもリンゴなど、いろいろ作っていますが、農薬の使用問題とか、そういうことがあって、将来的に世界を視野に入れるとすれば、やはり生産方法、品質管理、安全性の確保が非常に重要になるかと思えます。それで市の方でもいろいろ進めているのですが、また県のご協力もお願いしたいと考えているところです。

- ・ また、今ほど美肌日本一の話もありましたが、雨がたくさん降ったから美肌になったという話が出てきましたけれども、その他にもいろいろ原因があるのではないかと思います。やはり美肌には食や水の質など、いろいろ関係していると思いますから、そういうものも調査して、ぜひこの美肌日本一を売り出していければいいのではないかと考えているところです。
- ・ あと、高齢者のお話も先ほど出ていましたが、いろいろ高齢者の方に協力してもらってはいますけれども、さらにもっと進めて、消費の半分ぐらいは高齢者の方が握っているということで、もっと元気になって外へ出ていただいて、そういう世間の問題にも対処していただく、あるいは経済対策にも協力していただくということも必要かと思うので、もっと高齢者の方が出やすくなるような政策も必要ではないかと考えているところです。
- ・ もう1点、せっかく富山湾が世界で美しい湾クラブに入ったのですが、その割には夜は非常に暗いです。これから観光シーズンになれば、特に最近、インバウンドの方は夜の時間のつぶし方が非常に問題になっているということもあるので、海岸線ばかりではないのですけれども、夜の観光ということも視野に入れていく必要があるのではないかと考えております。
- ・ いずれにしても素晴らしい計画で、ぜひこの計画を実現できるよう頑張ってください。市も一緒に頑張っていきたいと思っております。

【堀内副委員長】

- ・ 新幹線の駅を設置市であり、先ほどから幾つかご指摘も受けていて、たくさん言わなければいけないのですが、時間もありませんので、何点か触れさせていただきます。
- ・ まず、大変詳細で幅広い計画ができたと思います。そういう中で、今、黒部市も何点か悩んでいることがあります。まずは公共交通のネットワークということで、二次交通の利用促進です。利用者がなかなか増えないことが非常に悩ましい現実であり、やはり県民運動としてそれぞれの市町村が公共交通の利用促進を図っているのですが、なかなか伸びません。今、3010運動とか、3015運動とか、食品ロスをなくそうということでのいろいろな運動が起きようとしています。そういう運動を我々の公共交通に例えたとしたら、市民が公共交通を1カ月に1回利用する生活に見直していただいたら、公共交通は大体成り立つと思っております。移動するときに分担率が1%ぐらいあったら、おおむね安定した運行ができると考えているのですが、3%ぐらいを目標にして、120万人の県民の3%でしたら、かなりの人数が公共交通を利用することになるので、ぜひそういうことを県民運動として行う必要があるのではないかとということが1点です。

- ・ それから、今、黒部市は国道 8 号沿いに道の駅を計画しており、そこで地場産の直売所をつくる計画があります。いろいろ調べたら、ここはモモやリンゴ、ナシなどのいろいろなおいしいものがあるのですが、結局、それぞれ数が少ないわけです。年間を通して品ぞろえをすることは非常に厳しいと思います。それらを埋めるために 6 次産業化とか、いろいろやらなければいけないのですが、それでも恐らく年間を通して直売所を埋めることは難しいだろうと。今、農協等も生産拡大をお願いしていますが、それぞれ個々で生産物を決めることも必要なのかもしれませんが、やはり商売ですから、安心・安全でおいしいというのは当たり前で、どれだけ品数をそろえられるかということが非常に大事です。ですから、県を挙げて、その辺の生産営業戦略を考えていくことが大事かと思えます。
- ・ 最後に、地方創生や地方の消滅といった大変厳しい言葉が出ている中で、われわれはこの地方で、元気な地方がこのように成り立っていくことを示していかなければならないと思います。それはスポーツとか、芸術とか、文化とか、こういう地方都市の中でもこれだけのことができるのだという取組みを積極的に進める必要があるのだろうと思います。今、おかげさまでシアター・オリンピックの話なども頂いておりますが、全県を挙げて、あるいは新川地域を挙げて、そういう取組み・活動に積極的に参加していただきますよう、県の方からもぜひよろしくお願いしたいと思います。

【吉田委員長】

- ・ ありがとうございます。ここで知事からコメントがございましたら、よろしくお願い致します。

【石井知事】

- ・ どうもありがとうございます。いずれ数値目標をもう少し明確にというお話がありました。今日の議論もその一つですけれども、最終的にこれまでの議論を積み重ねて、また、係数的な面も整理して、各部会長とも相談し、この計画のまとめに際しては、もちろん目標数値をできるだけ明確にしたいと思っております。
- ・ それとの関連で、毎年の達成状況についてです。大変良いことが書いてあって、このとおりできれば素晴らしいのだけれども、その達成状況を誰が評価して、どのように進行管理するのかというお話がありました。この点については今の 10 年計画でも、毎年度に庁内で評価委員会をつくり、それぞれの政策ごとに、評価結果を 4 月頃に公表しています。ですから、今後もそのようにしっかり進行管理をしていきたいと思えます。

また、私も含めて、毎年の予算編成をする際には、総合計画の各分野の政策目標を現時点でどこまで達成できているか、この予算要求を認めたらそれがどの程度まで上がるかといったことも、当然、判断に入れていきます。これだけいろいろな方に貴重なお時間を割いていただき、いろいろなご意見を伺って計画を作るわけですから、当然、作ったら終わりではなくて、しっかり実施していきます。

- ・ それから、有害鳥獣対策については県ももう少し前へ出てほしいというお話があり

ました。かなり前に出ているつもりなのですが、各論の面で、本当は国にももう少し、どうもいろいろやってもすぐに予算が足りなくなる面もあるのですけれども、国にも働き掛け、また、国の予算がどうしても足りない場合は県単も含めてしっかり取り組んでいきたいと思います。各論をまたいろいろお聞かせいただきたいと思います。

- ・ 看護師の確保については、以前、富山大学に頼んで定員を60人から80人にしてもらって、今度は県立大学に4年制の看護学部をつくります。また、高岡には三つの看護学校に分かれていたのを一つに統合する機会に定数をかなり増やすといったようなこともやってきているのですが、これはまた新川地区のいろいろな事情もあると思います。今のままで県全体の看護師の需給はほぼ取れそうな感じがするのですが、さらに拡充したりするためにいろいろなアイデア、努力をされるということもあろうかと思いますが、そういった点については県としてもサポートしていきたいと思います。
- ・ あと、外国人労働者の雇用の問題がありました。これについては皆さんもよくご存じだと思うのですが、いわゆる単純労働者の受け入れについては国全体の施策として、必ずしもそれが良いということではなく、むしろそれは避けて、技能実習制度というものをつくり、海外の若い人たちに技術を実習するということで来てもらおうと。そして、その研修をする過程で貴重な労働力になってもらいながら、また、技術を身に付けて母国へ帰ってもらい、それが技術移転にもなるという理屈、整理になっています。国の法律がそのように募集するようになってきているので、そういう前提でものを考えていこうと思います。

今回、この技能実習制度は、今まで期限が3年だったのを5年にしてもらいました。この点は新川地区の経営者の方から私に対して随分ご要望があって、これは国がもっぱらやっている分野なのですが、国にもお話しして、3年が5年になりました。ただ、3年の時点で一定の技術の習得をしていないと5年に進めないという国の法律制度になっていますから、うまく技術をちゃんと身に付けているようにと。しかし、企業経営者の方に聞くと、そこまではなかなか各個別の企業で手が回らず、せつかく3年してもらって、その企業にとって必要な技術は身に付けており、企業としてはぜひ5年間活躍してほしいのだけれども、国が求める資格には少し届かないというケースがあると聞きました。そこで、少なくとも典型的に「なるほど、こういう点が企業としては対応しにくいのか」という点については、私ども富山県が技術専門学院やいろいろなところを活用しながら、県として技能実習員の皆さんに対して研修をして、ちゃんと3年から5年に移行できる技術が身に付くように支援するという制度を既につくっていますから、これをぜひ活用していただきたいと思います。

宇奈月温泉などに台湾やタイの皆さんがインターンシップという形で、例えば大学の観光学科の方が来ているのです。それぞれ確か30~50人ぐらい来ていらしたと思うのですが、この方々は1年間、各ホテルや旅館でその勤労者として働いて、経験を積んで帰ります。ホテル・旅館の労働力として活躍してもらおうのですが、ただ、せつかく観光学科の大学生が来るのですから、もう少し富山県の観光についても知識を持ってもらい、また、富山の観光の魅力も体感していただければ、いずれ本国に戻って観光業界で活躍される際に、富山県の観光の魅力を知っていて、また、富山県に良い

印象を持って好意的に取り扱ってもらえるだろうということで、実は今年から県がお金も出して、そのようにインターンシップで来る人たちに対する日本語の研修をする機会を設けています。

また、忙しく旅館やホテルで働いていらっしゃるのでしょうかけれども、ホテル・旅館側とも話し合って、あるときに1~2日、県内の名所旧跡、あるいは富山県としてアピールしたい所を見てもらって、「なるほど、富山にはこんなに魅力がある所がたくさんあるのだ」と、宇奈月温泉の中だけではなくて幅広く知ってもらう仕組みも、今回、取り入れております。こういうことは今後もしっかりやって、海外から研修に来た人に労働力としても活躍してもらい、また、いずれ母国に帰られても未永く富山県と良好な関係を築いて、win-winの関係になるようにしていきたいと思っております。

- ・ 千田さんからのお話に出た若い人、次世代の方には結構元気のある人、やる気のある人が多いというお話がありました。大変ありがたいことであって、そういう若い人たちをしっかりサポートすると。先ほどの後継者問題もそうですが、これは若い世代に意欲がないと困るのですけれども、まず意欲がある人が結構出ているというのがうれしいことで、これをうまく、例えば後継者が見つからない60代後半、70代に入った経営者とマッチングして、うまく承継できるような仕組みを税制面も含めてできないかと、今、取り組んでおります。あと、美肌日本一もぜひ活用したいと思えます。
- ・ それから、中小企業もIoTをやりたいのだけれども、人もお金もないということで、しっかり支援してほしいというお話もありました。これについては、IoTに取り組んで設備投資などをなさるときには、これは全国的に初めてだと思うのですが、県で1000万円までは無利子で融資する、特定の場合は1500万円まで融資するという制度もつくっています。また、1件当たり200万円まではキャッシュで補助金を出すというプロジェクトをやっています。こういうものもつくっていますから、ぜひ手を挙げて、意欲的にやっていただければと思います。
- ・ あと、外国人の子女の教育といった問題も確かにあると思います。またよく実情を伺って、努力していきます。
- ・ 交通について、かがやきはともかく、つるぎの話が出ました。この点は先般、JRの社長さんにもお会いして、お話に出たように例えば上越妙高駅までつるぎを走らせて、折り返してこないことができないか、お願いはしております。向こうも採算性の問題とか、いろいろありますから、そう簡単にはいかないのですが、またこれからも努力していきたいと思えます。
- ・ その他、世界で最も美しい湾クラブに入ったのだから、もっと富山湾の活用、特に富山湾に限りませんが、夜の観光のお話も出ました。こういったことも心掛けていきたいと思えます。環水公園や新湊大橋などのいろいろな所で夜にライトアップをするなど、いろいろやっているのですが、県が全部というわけにもいきませんので、ここが全県的に見ても素晴らしいスポットではないかという所があれば、また教えていただきたいと思えます。また地元市と連携して、そういったことにも努力していきます。
- ・ それから、堀内市長から二次交通の利用促進、道の駅、それから文化やスポーツで努力されているというお話もございました。それぞれ大事なことだと思いますので、また公共交通の利用促進も含めて努力していきたいと思えます。

【吉田委員長】

- ・ ありがとうございます。最後に私からも思っていることをお伝えさせていただきたいと思うのですが、昨今、いろいろな座談会、あるいは問い合わせ、班、女性のグループから「ちょっと来て、話をしてくれ」と言われます。テーマは大体決まっていて、今は100歳時代だと。100歳時代をどうやってこれから、幾つかのステージに分けながら、いきいきと健康に生きていくかという中で、やはり組み立てていかなければならないという話があって、大変元気なおばあちゃんもいらっしゃいますし、若い人もいらっしゃいますし、この前は200人ぐらいの女性ばかりのところと呼ばれて、「さあ、どう思うのだ」と言われるので、こちらは大変活性化せざるを得なかったのですけれども、そのように非常に活発な議論や意見があります。
- ・ みんなポジティブな考え方で、その中には若いステージもあれば、経験を持った段階のステージ、それからシニアのもっと経験のあるベテランのステージがあります。ですが、100歳ですから、私はたまたま会社の中で最初は定年制度をやめようと言ったのですが、人事部が急にはできないと言ったから、「では、定年制度があればいいのだな。それでは90歳にしよう」と言って、まだなっていないのですけれども、そうになると、本当に世の中の考え方、見え方が変わってくるのです。若いうちは若いなりの成功例があって、やりたい人はたくさんいますし、先ほど皆さんがおっしゃったように優秀な若い人はたくさんいます。優秀な若い人に何かをさせたら、大変優秀な成績を上げた、業績を上げた、あるいは仕事をしたというとき、やはりそういう人たちの成功例をしっかり認めて、発表してあげなければいけません。それが自信につながりますし、次の後輩につながっていくのだと思うのです。若い世代は若い世代です。もっとシニアの世代もそうだと思います。そういうことを少し見方を変えてやっていくと、人口問題や労働問題を含めて、かなりいろいろな可能性が出てくるのではないかと考えております。
- ・ それから、われわれの会社のことで恐縮ですが、ずっと言っているのは、とにかく投資をしないところに新しい事業のチャンスはないと。ですから、毎年、投資をしますのでけれども、メーカーなのでそういう部分があるかもしれないのですが、別にメーカーだけでなく、いろいろな会社の中でも同じように意味があるのだと私は思っています。それをとにかく繰り返し、繰り返し、これでもかと。少しでも落ちてきたら、もうビジネスモデルが合わなくなってきたということで、ビジネスモデルを変えなければいけないと言いながら、新しい方向に向かって何か挑戦していく。挑戦し続けられない限り、うまくいくわけではないので、そうなるのではないかと考えていて、投資をとにかくすると。ただし、それは良い投資でないといけなくて、良くない投資を一生懸命していったら、会社の財産も毀損していつてしまうので、良い投資かどうかの判断と、その投資をどんどんしていけば良い循環が生まれるはずだと思っています。
- ・ そう考えると、今、とにかく日本の中でもこの富山を取り巻く環境というのは、こんなに大自然が素晴らしいところはなくて、知事をはじめ、県の皆さんはこれでもかというぐらい細かく、いろいろなことをやろうと。あとは先ほども言ったように実行

力、実現力が伴うかどうかという話で、これは言ったから終わりではなくて、やり終えたから終わりだというぐらいに思っていたら、それがつながっていけば、それでいいのではないのかと思っています。ぜひ皆さんから頂いた多くの幅広いご意見がもう一回整理されながら、良いまとめ方をしていっていただけると、大変ありがたいと思っています。

- ・ これだけ知事を前に皆さんからお話をされたので、知事はまさか他人事ではないと思うのです。最後に閉会する前にもう一言、知事に確約の思いと言えいいのか、知事の思いを述べていただいて、閉会につなげたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

(4) 閉会

【石井知事】

- ・ 吉田委員長に最後は締めていただきまして、ありがとうございます。人生 100 年時代ということで、本当にそういう時代になってきたと思います。いずれにしても、この計画はもちろん作文するためにやっているわけではなく、実行していこうと。ただ、本当はいろいろな分野でやりたいことがいろいろあるのですが、県民の代表の皆さん、各分野の代表の皆さん、あるいは地域の代表の皆さんに幅広くご意見を聞いて、その議論の中で、おのずから優先順位もあると思いますから、計画にうまく取り込み、おっしゃるように目標数値もできるだけ明確にして、性格上難しい点もありますけれども、できるだけ明確な数値目標的なものも示し、それを今後 10 年間で着実に実行していくと。

今の計画でも、毎年チェックしていますが、予算編成の際にも、当然、その計画との関係も議論してやっているわけです。実施状況はそれなりに順調ではないかと思いますが、ただ、時代はどんどん変わります。やはり 5 年前に総合計画を議論したときは、第 4 次産業革命という言葉自体がありませんでした。その萌芽はありましたけれども、ですから、10 年計画を作っても、2 年、3 年、あるいは 5 年もたつと、やはりがらっと変わってくる部分があります。そういうことにも、また臨機応変に対応していくと。

そういう意味で、今度の計画も 10 年計画ですが、5 年たったので見直して新しい計画にしているわけで、先ほども申し上げましたが、必ずというか、まさに実行するためにこの計画を作っているのも、また、この地域に限らず、これだけ多くのいろいろな皆さんから貴重なご意見を頂いたわけですから、それをうまく組み合わせて着実に実施していくということはこの機会に改めて申し上げて、これまでのご尽力に感謝を申し上げて終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

【吉田委員長】

- ・ 石井知事、ありがとうございました。本日の会議が新川地域委員会として最後の委員会となりますので、本日の議事の答申検討案「地域別の特性と取組み」については、本委員会として取りまとめた上、この後、総合部会、審議会に諮って最終答申の取りまとめを行っていくこととなります。

先ほど事務局からも説明がありましたように、来年1月、あるいは2月ごろまでに開催を予定している総合計画審議会で答申案を審議することになりますが、この間、国の動きや県の予算編成等も見ながら、若干の調整を必要とすることも考えられます。この内容の調整については、大変僭越ですが、委員長である私と事務局とで十分協議した上で、答申時には最新の内容で出したいと考えております。

本日頂きましたご意見を踏まえた修正・加筆、または今申し上げたような調整については、委員長である私にご一任いただき、本委員会として取りまとめたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。(委員から異議なしの声)

- ありがとうございます。委員の皆さまには、最終答申案を事務局からお送りして、ご確認をお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。